

基本施策2 | 切れ目のない相談支援づくり

【現状と課題】

生活を取り巻く環境が急激に変化する今日、結婚を希望する男女の多くが、結婚に対する悩みや不安、さらには、出産や子育て、住まい、仕事などに対する悩みや不安を抱えています。

このような状況の中、関連機関、関係組織と連携を深めながら効果的で効率的な切れ目のない相談支援を行っていくことが必要です。

【取組の方向】

結婚を望んでいる男女に対し、結婚から出産、子育て、住まいなど様々な分野において切れ目のない相談支援に取り組みます。

- ①結婚新生活への支援
- ②切れ目のない相談支援

【具体的事業】

①「結婚新生活支援事業」(新規)

結婚による経済負担支援策として、住宅取得やアパート等の賃貸費用の支援、引越費用の支援事業の実施を検討していきます。また、一人でも多くの方が利用できるように、事業のPR活動、情報提供の充実を図っていきます。

- ◇結婚新生活への支援
- ◇ポスター、パンフレットによる情報提供
- ◇市広報誌、市ホームページ、SNSを通じた情報提供
- ◇マスコミなどを通じたPR活動、情報提供

②「結婚、出産、子育てに関する切れ目のない支援活動」

結婚を望む男女が安心して結婚以外の出産や子育てに関する相談もできるように、関連機関、各部との連携強化を図っていきます。また、一人でも多くの方が相談支援を利用できるように、支援事業のPR活動、情報提供の充実を図っていきます。

- ◇ポスター、パンフレットによる情報提供
- ◇市広報誌、市ホームページ、SNSを通じた情報提供
- ◇マスコミなどを通じたPR活動、情報提供

第5章 戦略の推進

1 施策の目標値設定

本戦略は、平成29年度から平成33年度までの5年間の計画であり、5年後のあるべき姿として、目標値を基本目標ごとに設定します。

目標の成果については、数値実績はもとより、市民、相談者、セミナー参加者によるアンケートや意見など、外部からの客観性、透明性のある評価とします。

基本目標	実施検討すべき事業	平成33年度目標値
気運づくりの推進	結婚、親子セミナー開催	参加者満足度 80%
	企業内結婚サポーターの確保	5人
	結婚支援の市民啓発関連	市民認識度 70%
ひとづくりの推進	地域結婚サポーターの確保	15人
	ライフプラン・スキルアップセミナー開催	参加者満足度 80%
出会いづくりの推進	出会いの機会情報提供活動実施	市民認識度 70%
	さまざまな出会いの機会実施	マッチング件数 300組
総合的な結婚支援の推進	結婚新生活支援事業	利用者満足度 80%
	結婚サポートセンターの運営	利用者満足度 80%

2 推進体制の充実

本戦略の推進に当たっては、市民、企業や団体、行政が一体となって相互に協力しながら、地域社会全体で結婚をサポートする様々な施策を計画的かつ総合的に推進します。

なお、社会情勢や市民ニーズへの柔軟で的確な対応ができるよう、必要に応じて見直すこととします。

3 戦略の進捗管理

本戦略の進捗状況を確認するため、毎年、結婚支援に関する施策の実施状況について評価を実施します。また、結婚に関する情報の収集に努め、市広報誌や市ホームページ等で提供します。

〔附属資料〕

○ 那須塩原市結婚サポート総合戦略策定懇談会委員名簿

宇都宮大学教授 キャリア教育・就職支援センター副センター長	末廣 啓子
栃木県とちぎ男女共同参画センター 参事兼所長	善林 景子
C.K.コンサルティング&コーチング代表	近藤 千園
株式会社エフエム栃木 営業部担当部長	田辺 康雄
那須塩原市男女共同参画審議会 副会長	柳場 美枝子
酪農とちぎ農業協同組合那須高原支所 支所長	大平 和広
とちぎ未来クラブ地域結婚サポーター	田口 常信
株式会社あしぎん総合研究所 取締役本部長 上席研究員	小池 一郎

○用語解説（掲載順）

用語	初出	解説
とちぎ創生15(いちご)戦略	4頁	とちぎ創生15(いちご)戦略とは、栃木県版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の名称。急速な少子高齢化の進行に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、将来にわたり地域の活力を維持していくための5年間(平成27(2015)～31(2019)年度)の目標や基本的方向を定めています。戦略4つの基本目標を掲げ、目標実現に向けて、15の戦略を展開していきます。
とちぎ未来クラブ	4頁	とちぎ未来クラブ(会長 栃木県知事)とは、県や市町、関係団体で構成され、県民総ぐるみで結婚・子育てを支援し、家族を築き安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを推進する組織のこと。「とちぎ出会いサポート事業(結婚支援事業)」及び「とちぎ子育て家族応援事業」を実施しています。
地域結婚サポーター	4頁	地域結婚サポーターとは、民生委員・児童委員又は市町の結婚相談員等を委嘱されている方や経験された方、地域における結婚の推進に積極的に取り組んでいる方などで、とちぎ未来クラブが実施する結婚支援事業に賛同し、市町村長の推薦を受けた方のこと。地域における結婚相談やとちぎ未来クラブが行う結婚支援事業の情報提供活動などをボランティアで行います。
企業内結婚サポーター	4頁	企業内結婚サポーターとは、従業員等の結婚支援のため、企業等から推薦を受けた方のこと。企業又は団体等内での結婚相談やとちぎ未来クラブが行う結婚支援事業の情報提供活動などをボランティアで行うものです。
とちぎ結婚支援センター	4頁	とちぎ結婚支援センターとは、平成29年1月に栃木県が開設した、会員登録制のマッチングシステムを使ったパートナー探し等、結婚を希望する独身男女のポジティブな婚活につながるよう、新たな出会いの機会を提供していく結婚支援組織です。

○用語解説（掲載順）

用語	初出	解説
合計特殊出生率	7頁	合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの。一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当するものです。
ワーク・ライフ・バランス	16頁	ワーク・ライフ・バランスとは、仕事と生活の調和と訳されます。仕事と生活の調和が実現した社会とは、国民一人一人がやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会とされます。
SNS	19頁	SNSとは、ソーシャルネットワーキングサービス(Social Networking Service)の略で、登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのことです。
男女共同参画	20頁	男女共同参画社会とは、男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会のことです。
八溝山周辺地域定住自立圏	20頁	八溝山周辺地域定住自立圏とは、八溝山を囲む2市6町(大田原市、那須塩原市、那須町、那珂川町、福島県棚倉町、矢祭町、塙町、茨城県大子町)の3県にまたがる八溝山周辺地域。 定住自立圏構想とは、地域の中心的な役割を担う自治体(中心市)と中心市と連携する意思を有する近隣自治体が手を取り合って圏域を形成し、様々な産業、自然環境、歴史、文化など、それぞれの地域の魅力を活用して、NPOや企業といった民間の担い手を含め、相互に役割を分担し、連携・協力することによって、地域住民のいのちと暮らしを守るため圏域全体で必要な生活機能を確認し、地方圏において人口定住を促進する施策を示します。